

NIPPON TAIKO  
JAPAN FESTIVAL 2024



# 日本太鼓 ジャンボリー 2024

2024.

**6.9** |日|

**文京シビックホール 大ホール**

主催 | 公益財団法人 日本太鼓財団 主管 | 日本太鼓財団東京都支部  
協賛 | 日本財団 後援 | 文化庁、東京都

 **日本太鼓財団**  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

Supported by  **日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION**

## ご挨拶

公益財団法人 日本太鼓財団  
理事長

# 大澤 和彦

*Kazuhiko Osawa*



このたびの「令和6年能登半島地震」によって、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被害を受けられました皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

本日は、日本太鼓ジャンボリー 2024 にご来場賜り、誠にありがとうございます。

当財団は現在 47 支部（43 都道府県）となり、加盟団体数は約 650 団体、会員総数は約 17,500 人を数えております。また、当財団ではこれまでコンクール事業や演奏会の開催、技能向上を推進するための資格認定事業など、国内での普及活動はもとより、47ヶ国に及ぶ世界の国々で太鼓を通じた国際交流を実施してまいりました。

昨年度も会員の皆さまのご協力を得て、たくさんの事業を実施することができました。

日本太鼓ジャンボリーは、日本各地で活躍している優秀な太鼓団体が一堂に会し、広く太鼓演奏を披露し、日本太鼓の普及、振興を図るとともに技術の向上並びに団体間の交流を促進するため実施する事業です。今年はわが国を代表する太鼓チームが北海道から九州まで 12 団体が集まり文京シビックホールにて盛大に演奏いたします。力強い響きを最後までごゆっくりお楽しみいただければ幸いです。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団ならびにボートレース関係者の方々、そして本開催にあたりご支援ご協力をいただきました文化庁、東京都をはじめとする関係各位、主管の日本太鼓財団東京都支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。

## ご挨拶

日本太鼓財団東京都支部 支部長

# 湯澤 元一

*Motoichi Yuzawa*



本日の「日本太鼓ジャンボリー 2024」に、ご来場を頂き誠にありがとうございます。今年も素晴らしいホールにてこの太鼓響宴を開催でき、ここまでイベントを続けてこられたこと、本日ご来場頂きましたお客様のおかげと心より感謝申し上げます。

世界には様々な打楽器が存在しますが、島国日本特有の太鼓文化は「和」の色々な角度から親しまれてきたと思っております。和太鼓の「和」には、「日本の楽器で心が『なごむ』」、「和」=『輪』となり人々の繋がりを表す」、「太鼓の形状が、まさしく『輪』円（縁）を司る」など色々な解釈がございます。ご来場の皆様の魂にも響き、明日からの活力になりますよう心より祈念いたします。

本年は元日に、石川県で「令和6年能登半島地震」が発生しました。被災した仲間達を応援する為に、ここ東京に全国の名立たる太鼓仲間が集結しました。毎年3月に開催の「日本太鼓ジュニアコンクール」優勝チーム・11月に開催の「日本太鼓シニアコンクール」名人位が演奏し、その他にも昨年度各地域で活躍されました団体が妙技を披露します。さらに、震災で大変ご苦労されている中、石川県より3団体にご出演頂き、盛り沢山の内容となっております。被災した仲間達に少しでも「勇気」と「希望」を送れるよう舞台を務めてまいります。

最後に、日頃よりご支援・ご協力をいただいております「公益財団法人日本太鼓財団」をはじめ関係各所の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

## 日本太鼓ジャンボリー 2024 プログラム

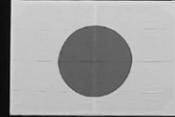
Nippon Taiko Foundation Tokyo Branch Joint Team (Tokyo)	
<b>1. 日本太鼓財団東京都支部合同チーム</b>	東京都 p.04
Wajima Wadaiko Toranosuke (Ishikawa)	
<b>2. 輪島・和太鼓 虎之介</b>	石川県 p.05
Shinshu Ueda Sanada Jin-Taiko (Nagano)	
<b>3. 信州上田真田陣太鼓保存会</b>	長野県 p.06
Wajima Koshu Taiko (Ishikawa)	
<b>4. 輪島高洲太鼓</b>	石川県 p.07
Kanto Yamato Taiko (Tokyo)	
<b>5. 関東やまと太鼓</b>	東京都 p.08
Shien (Kyoto)	
<b>6. 恵炎</b>	京都府 p.09
Kushibiki Hideaki (Hokkaido)	
<b>7. 櫛引秀明（地獄太鼓）</b>	北海道 p.10
Bonten (Tokyo)	
<b>8. 梵天</b>	東京都 p.11
Gojinjo Taiko (Ishikawa)	
<b>9. 御陣乗太鼓保存会</b>	石川県 p.12
Third Generation Genryu (Oita)	
<b>10. 三代目源流</b>	大分県 p.13
Takano Ukichi & Chichibu shachu (Saitama)	
<b>11. 高野右吉と秩父社中</b>	埼玉県 p.14
Nobushi (Fukuoka)	
<b>12. 野武士</b>	福岡県 p.15

### ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、お静かにお願いします。
- 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際は気を付けてください。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 会場内での大声での会話はお控えください。
- 客席での写真撮影や動画撮影はできません。
- 客席でのご飲食はできません。
- 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
- 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。

日本太鼓ジャンボリー 2023

主催：公益財団法人 日本太鼓財団 主管：四州太鼓連合 日本太鼓財団東京都支部



1 日本太鼓財団東京都支部合同チーム

東京都

演奏曲：<sup>たすき</sup>襷

日本太鼓財団東京都支部に所属する6チームによる合同演奏です。

合同曲である「襷」は、太鼓集団 天邪鬼代表であり前東京都支部支部長の渡辺洋一氏によって作曲されました。江戸伝統の祭太鼓のリズムをベースとしており、失われつつある「昭和の太鼓」を後世に残したいという思いが込められています。多くの太鼓仲間たちが参加し、この曲を通して絆を未来につないでいくことがテーマとなっています。

子どもから大人まで、年齢や所属団体の枠を越えて、想いを一つにして太鼓を打ちます。

参加チーム（順不同）

関東やまと太鼓、岩淵組、和太鼓大元組、中野打越太鼓、和太鼓水心会、荏原流れ太鼓ひびき會

2 輪島・和太鼓 虎之介

石川県

演奏曲：<sup>のどのくにきりこまつり</sup>能登國切籠祭  
<sup>こぶうまい</sup>鼓風舞

輪島・和太鼓 虎之介は石川県輪島市を拠点とし、伝統の祭り太鼓を基本としながら、和太鼓に「新しい風を」との思いで、2000年に結成されました。1月1日の能登半島地震で、メンバーたちの自宅が被災し、現在、稽古場も利用出来ない状態です。今までの生活が全て奪われてしまいましたが、本日は支えてくださる皆様への感謝の気持ちを込めて演奏いたします。

1曲目「能登國切籠祭」は、地元の祭り囃子が由来です。毎年8月に開催される輪島大祭で巨大燈籠の「切籠」が厳かに運航する際に、御神輿の先導役として道中囃子が打ち鳴らされます。しっかりとした打ち込みで、太鼓本来の音色を引き出し、祭りの盛り上がり表現しています。

2曲目「鼓風舞」は、担ぎ桶太鼓がメインの曲で、明るい曲調となっています。担ぎ桶の掛け合いをご堪能ください。



# 信州上田真田陣太鼓保存会

長野県

演奏曲：真田丸 さなだまる

1985年に放映されたNHKドラマ「真田太平記」をきっかけに、城下町である上田市の活性化と観光並びに文化芸能の発展に役立ちたいとの思いで、同年に信州上田真田陣太鼓保存会が発足しました。

今からおよそ400年前の戦国時代に活躍した、真田昌幸と幸村の知略と武勇を陣太鼓で表現しています。演奏曲である「真田丸」は、1614年大坂冬の陣にて豊臣方についた真田幸村の、大阪城の平野口に築いた出丸「真田丸」での活躍を描いたものです。口上から始まり、真田軍の進軍や、徳川軍と騎馬合戦で争う様子を、太鼓でダイナミックに表現しています。特に注目いただきたいパートは槍隊、鉄砲隊です。各部隊の勇ましい演武をぜひご覧ください。



# 輪島高洲太鼓

石川県

演奏曲：輪島大祭道中囃子 わじまたいさいどうちゅうばやし  
輪島祭り囃子 わじまつりばやし  
高洲の響き こうしゅうひび

輪島高洲太鼓は輪島市内の小中高生を中心に組織された団体で、2001年11月に設立されました。輪島祭り囃子と創作和太鼓の練習を通じて、親子の絆や青少年の健全育成を促進し、地域の発展に貢献することを目指しています。また、地元の伝統と文化を尊重し、各種太鼓のコンテストや県内外のイベントに出演し、地域コミュニティに貢献をしています。

「輪島大祭道中囃子」と「輪島祭り囃子」は、地元のお祭りである輪島大祭で、「切籠」が道中を歩く様子、「切籠」が止まった時に打つ「止まり太鼓」、神事を無事に終え切籠宿へ帰る「帰りはやし」を演奏し、祭りの風景を再現しています。「高洲の響き」は「輪島祭り囃子」をアレンジした曲です。

輪島高洲太鼓は令和6年能登半島地震により大きな被害を受けました。本公演で能登の祭りの雰囲気を感じていただけますと幸いです。



# 関東やまと太鼓

演奏曲：打天鼓

関東やまと太鼓は1973年夏、盆太鼓を愛する5人の若者により発足し、盆太鼓、創作太鼓、地元の葛西囃子、伝統の太鼓と多岐にわたる活動で昨年50周年を迎えました。

「打天鼓」は、音が天まで届く力強さと、「高くジャンプするためには一度深く沈む必要がある」というテーマのもと、抑揚や起伏に加え、打ち込みの要素を取り入れた楽曲です。高揚感をもたらす繊細なリズムの掛け合いから始まり、後半にかけて力強い打ち込みへと展開していきます。曲中には各パートのソロや、テーマに沿って深く沈むシーンがあります。

大太鼓の合図で始まる曲の冒頭や太鼓の掛け合い、各パートのソロ打ち、そしてクライマックスへの展開にご注目ください。

5

東京都



# 恵炎

演奏曲：太極鼓

恵炎は瓜生山学園京都芸術大学を拠点に2000年に結成されました。幼児から社会人、また自閉症・ダウン症の方々を対象に指導を行っています。「太鼓のエネルギーと打ち手の魂が一つとなる演奏」を念頭におき、和太鼓の芸術的可能性を日々追求しています。

今回演奏する「太極鼓」は、天地や陰陽、男と女のように相反するものが和合し、調和することで生み出される新たなエネルギーを求めることが、テーマの楽曲です。鎮魂への想いを祈りに込め、互いを理解し、和合、融合することで醸し出されるエネルギーを太鼓で表現しています。演奏の中で、太鼓が持つ温かさ、音域の広さ、打ち手の気の流れを感じていただければ幸いです。

6

京都府



櫛引秀明 (地獄太鼓)

北海道

演奏曲：北海流れ打ち  
北海勇み駒

地獄太鼓は1965年に橋本光司氏が創始した登別地獄太鼓を原点とし、橋本流地獄太鼓として札幌を中心に活動されていましたが、2022年の橋本氏の引退後は、室蘭に拠点を移して二代目地獄太鼓として再開しました。その特徴はスピード感と力強さで、体力の限界まで演奏します。

演奏曲である「北海流れ打ち」と「北海勇み駒」は北陸の太鼓を基本に、北海道の新しい太鼓芸能の創始者である大場一刀氏と北海グループが作曲したものです。それぞれ、石狩川の流れと北海道の若駒の躍動を太鼓のリズムで表現しています。演奏スタイルは北陸の太鼓を学んだ大場氏を手本に、長胴太鼓を前に置き、後ろに大桶胴太鼓を置きます。

地獄太鼓の代表である櫛引秀明氏は、2023年11月19日に石川県輪島市で開催された「第20回日本太鼓シニアコンクール」で、名人位に輝き内閣総理大臣賞を受賞されました。



梵天

東京都

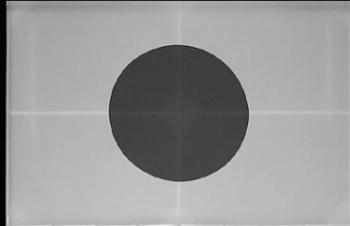
演奏曲：縛日羅

梵天は小林政高氏が代表を務める和太鼓教室「未来太鼓道場」の出身メンバーで1999年に結成され、2001年よりコンサート活動を行っています。

今回演奏する曲「縛日羅」は、仏教音楽「声明」との共演の際、教典に書かれた文字から着想を得て、物事を中心、一番大切な核となる部分をイメージして作曲されました。緊張感の高い鉦の音で始まり、様々な展開を経た後、ラストはエネルギーに満ちた希望ある世界を表現しています。中盤の激しいセット打ちの後の、ピアノシモの音の中にある不規則なアクセントは、予測不可能な未来を感じさせます。



日本太鼓財団  
東京都支部



〔公財〕日本太鼓財団  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

Supported by 公益財団法人 日本太鼓財団  
第26回日本太鼓ジュニアコンクール  
主催：公益財団法人 日本太鼓財団 主管：日本太鼓財団埼玉支部



# 御陣乗太鼓保存会

石川県

演奏曲：御陣乗太鼓

1576年、越後の上杉謙信は、難攻不落とされた能登の七尾城攻略に成功し、その余勢を駆って奥能登の平定を進め、翌年に名舟村（現在の石川県輪島市名舟町）へと押し寄せました。武器らしいものを持たない村人たちは、樹の皮で面を作り海藻を頭髪とした扮装で、陣太鼓を打ち鳴らしながら夜襲をかけました。大音響を伴った鬼気迫る突然の襲来を上杉勢は驚愕し、戦わずして退散したと伝えられています。これが御陣乗太鼓の由来とされています。

始めはゆっくりと、次いでやや早く、最後は最も早く打ち切るという序破急の三段で打ち、これを何回も繰り返します。その間、打ち手は自由な形で見得を切り、面に応じた身振り、身のこなしなど個性的な芸を入れます。

1963年に石川県指定無形民俗文化財に指定されました。能登半島地震により、御陣乗太鼓保存会のメンバーが住む名舟町は町民総避難地区となり、現在も殆どの方が市外避難や仮設住宅での生活を余儀なくされています。そのような中でも精力的に県内外の公演を行い、能登の誇りを響かせ、被災地に勇気を与え続けています。

# 三代目源流

大分県

演奏曲：気鋭令 (ZERO)

大分県由布市無形文化財「豊の国ゆふいん源流太鼓」の音を後世に継承したいという思いで、2014年「ゆふいん源流少年隊」が結成され、「三代目源流」は代表チームとして出演しています。

今回は、第26回日本太鼓ジュニアコンクールの課題曲「気鋭」、自由曲「令 (ZERO)」を披露します。「気鋭」は、気力に溢れ、積極的な気持ちで勢い付く若者を表現し、当財団長谷川義会長が作曲しました。「令 (ZERO)」は、様々なジャンルの太鼓がグローバルに展開されている現在、日本の文化である和太鼓を原点から見直していこうという意味が込められています。

日本の伝統、名刀のごとき打ち込みの美学をご覧ください。

三代目源流は、2024年3月24日に埼玉県さいたま市で開催された「第26回日本太鼓ジュニアコンクール」で、2回目の優勝に輝き、内閣総理大臣賞を受賞されました。

# 日本太鼓ジャンボリー2022

主催：公益財団法人日本太鼓財団 主管：関八州太鼓連合 日本太鼓財団東京都支部



日本太鼓財団  
東京都支部



〔公財〕日本太鼓財団  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

第33回 国民文化祭・おおいた2018 第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会  
太鼓の祭典



全九州太鼓連合  
ALL KYUSHU-TAIKO UNION



〔公財〕日本太鼓財団  
NIPPON TAIKO FOUNDATION



日本太鼓財団  
大分県支部



## 高野右吉と秩父社中

演奏曲：秩父屋台囃子  
ちちぶ やたいばやし

埼玉県より無形文化財秩父屋台囃子保持者に指定された先代高野右吉が、打法を次代に伝えるために1954年に当団体を設立しました。

秩父屋台囃子の由来は、文献がないため正確なことは不明ですが、口碑伝説の1つによると大阪城築城の際の「石びきばやし」と称した囃子で士気を鼓舞したものが秩父に伝承されたと伝えられています。

12月3日の秩父夜祭大祭では、国指定重要文化財である約20トンの山車6基が秩父市内を曳行される際に、屋台囃子は山車の中で長胴太鼓を中心に打たれ、町角で方向転換する時には締太鼓による「玉入れ」または「ころがし」という曲を打ちます。

本来、山車の中では長胴太鼓1台、締太鼓3丁、笛1本、当り鉦1個ですが、今回は長胴太鼓を4台に増やして山車がお旅所に集まったときのような賑やかさをお届けします。

# 11

埼玉県

## 野武士

演奏曲：紫打流  
しだれ あしゅら  
阿修羅

野武士は福岡県嘉麻市（旧：山田市）にある山田市龍太鼓保存会を母体に1998年に結成されました。由来の「野武士」の意味は、戦国時代に主君を持たず自活する武士のことであり、戦を生業とし、刀や武器を手に常に戦場を求め諸国を放浪した侍のことです。日本の伝統文化「和太鼓音楽」という主君の概念だけにとらわれることなく、独自のスタイルとアイデアを探求し、侍、魂、神仏、戦を演奏テーマに掲げます。

本日演奏する1曲目「紫打流」は、締太鼓3台による打ち込みの演奏で、2曲目「阿修羅」は、戦闘を司る神阿修羅を和太鼓で表現した楽曲です。どちらも斬新かつ大胆に日本古来の楽器である「和太鼓」を駆使し、「和」の美学を舞台上で余すところなく表現しています。

# 12

福岡県

# 2024年度の事業活動予定

## ■第9回大学太鼓フェスティバル

期日	2024年8月28日(水)
場所	タワーホール船堀(東京都江戸川区)
主催	大学太鼓連盟
出演団体	15団体程度

## ■第26回日本太鼓全国障害者大会

期日	2024年10月6日(日)
場所	DMG MORIやまと郡山城ホール(奈良県大和郡山市)
共催	社会福祉法人 富岳会
出場団体	30団体程度

## ■第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭 「清流の国ぎふ」文化祭2024「太鼓の祭典」

期日	2024年10月20日(日)
場所	不二羽島文化センター(岐阜県羽島市)
主催	文化庁、厚生労働省、岐阜県、清流の国ぎふ文化祭2024岐阜県実行委員会、羽島市、羽島市教育委員会、清流の国ぎふ文化祭2024羽島市実行委員会、公益財団法人 日本太鼓財団
出演団体	30団体程度

## ■第8回浅草太鼓祭

期日	調節中
場所	調節中
主催	浅草太鼓祭実行委員会、日本太鼓財団東京都支部
出場団体	20団体程度

## ■第21回日本太鼓シニアコンクール

期日	2024年11月17日(日)
場所	石川県小松市團十郎芸術劇場うらら(石川県小松市)
主催	公益財団法人 日本太鼓財団、公益社団法人 石川県太鼓連盟、一般財団法人 石川県芸術文化協会、北國新聞社
出場団体	30組程度

## ■第27回日本太鼓ジュニアコンクール

期日	2025年3月23日(日)
場所	iiichikoグランシアタ(大分県大分市)
出場団体	50団体程度

## ■日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業)

第73回日本太鼓全国講習会 2025年2月頃 鹿児島県

## 公益財団法人 日本太鼓財団 概要

〈設立日〉	1997年11月11日	
〈公益財団移行日〉	2012年4月1日	
〈資産〉	基本財産 3億円	
〈加盟支部数〉	47支部(43都道府県)	
〈加盟団体数〉	約650団体	
〈会員総数〉	約17,500人	
〈役員〉		
会長	長谷川 義	全九州太鼓連合名誉最高顧問
理事長	大澤 和彦	常勤
副会長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
常務理事	佐々城 清	常勤
理事	浅野 昭利	(一財)浅野太鼓文化研究所理事長
理事	石井 幹子	(株)石井幹子デザイン事務所代表取締役
理事	中西 由郎	元(一財)日本モーターボート競走会監事
理事	山内 強嗣	(福)富岳会理事長
〈評議員〉		
評議員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評議員	岡田 知之	元(公社)日本吹奏楽指導者協会会長
評議員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員	佐藤 淳子	元(一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員	高島 肇久	(学)津田塾大学理事
評議員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評議員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長
〈監事〉		
監事	伊藤 勝彦	弁護士 ITN法律事務所

(敬称略)



日本太鼓財団  
NIPPON TAIKO FOUNDATION

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2日本財団第二ビル6階  
TEL: 03-6205-4377 E-Mail: info@nippon-taiko.or.jp  
<https://www.nippon-taiko.or.jp>